

三ヶ日ミカン柄の自動車シートカバー

サンショウ(浜松市中央区)

特産の三ヶ日ミカン柄をデザインにした自動車シートカバー(右)



企業情報



1948年創業。従業員98人。浜松市中央区薬師町70。

地元浜松特産の三ヶ日ミカンのポップで鮮やかなデザインをあしらった軽自動車、小型車向けシートカバー。国内全車メーカーと取引がある純正の内外装品製造会社の技術を生かし、カラーライフを彩る一般向け自社ブランド製品としてE/C

静岡ものづくり

最前線

(電子商取引)販売する。シートカバーは無地で重厚なデザインや色調が多い純正品に対し、プリント柄など小ロットのニーズに応えようと開発を進めた。難燃性や耐光性、耐久性など、日頃求められる純正レベル

の設計基準を満たすなど、

純正技術でニーズ対応

ノウハウを生かした。

ミカン柄のデザインは、4年前から産学交流がある静岡文化芸術大の学生が地元名産をモチーフに描いた案を選んだ。難燃加工生地を使い、生地裏にはウレタンを配して柔らかい座り心地に配慮。手洗いもできる。背面にはポケットを付けて収納性を高めた。

浜松商工会議所が認定する本年度の地域ブランド「やらまいか」に選ばれた。製品ラインアップとして、太陽の熱からガードするハンドルカバー、俵型のビーズクッションも同柄でそろえた。カー用品のニーズが多様化する中、山本康人企画営業部次長は「培った技術を強みに、今後もユーザーの『ほしい』を形にしていきたい」と話す。